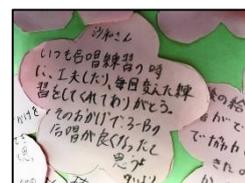


平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書④

都道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ Ⅳ 】
2 実施対象者	八百津町立八百津中学校 全校生徒（232名）
3 展開の形式	学校における活動 ①教科名（ 総合的な学習の時間・保健体育・道徳 ） ②行事名（ ひびきあい集会 ） ③その他（ ）
4 目標 (ねらい)	①他を思いやる心の大切さを、年間を通して考え、実践することで一人一人が人権感覚を磨く（人道精神に磨きをかける）ことができる。 ②安心・安全な学級・学校をつくりあげていくために必要なことを一人一人が考え、実践することができる。 ③普通の生活では知ることができない様々な立場の人の考え方を知り、自分の考えや行動を見つめ直すことで、今後の生活につなげることができる。（体験・講師の講話）
5 取組内容	<p>(1)1学期の「ひびきあい活動」</p> <p>①ひびきあい道徳（5月30日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おもいやり」に関わる資料を通して、他を思いやることの大切さや今後、自分自身はどのような生活を送るべきかを話し合う。 <p>②ひびきあい学活（6月5日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ひびきあい道徳終了後に、ひびきあいアンケートを実施。その集計結果をもとに学活を行う。学活の中で自分たちの学級の課題を明らかにし、年間を通して学級で大切にしていける「安心・安全宣言文」を作成する。 <p>③ひびきあい集会（6月8日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学級の「安心・安全宣言文」を全校の前で発表し、今後の活動を明らかにする。また、生徒会として大切にしていける内容を全校で共通理解する。 <p>(2)「ひびきあい活動」の実践</p> <p>目的：全校で仲間のよい姿を見つけるだけでなく、その良さを相手に伝える活動を実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動「ほかほかの花」 昼の放送を活用した生徒会長による仲間のよさ紹介 生徒会だよりを活用した仲間のよさ紹介 あったかい言葉かけ運動 教師が中心となった全校生徒のよさ紹介 各学年の活動は、別紙の各学年の報告書による <p>(3)2学期の「ひびきあい活動」</p> <p>①ひびきあい道徳（11月28日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「公正・公平・社会正義」に関わる資料を通して、自分自身の生活について振り返る。 <p>②ひびきあい学活（12月7日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 1学期に考えた各学級の「安心・安全宣言文」に対する自分たちの学級の高まりについて話し合う。 <p>③ひびきあい集会（12月11日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学級の振り返りを全校に報告する。生徒会活動についての振り返りを全校に報告する。 <p>(4)「ひびきあい集会」講演会（12月11日）</p> <p>①保健体育ゴールボール体験</p> <ul style="list-style-type: none"> 12月10日の1時間目から6時間目を使い、各クラスの保健体育の授業で、ゴールボールを実際に体験する。指導は保健体育の教師が行う。岐阜県立岐阜



	<p>盲学校からゴールボール用のゴール、ボール、アイシェードを借り、体育館に実際のコートを作り行う。</p>  <p>②全校ゴールボール体験（12月11日 4時間目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴールボール元日本代表の中嶋茜さんを招き、全校生徒で視覚に障がいがあってもスポーツを行うことができることを体験する。代表者によるゴールボールの試合も実施する。 <p>③講師による講演会（12月11日 5時間目）</p> <ul style="list-style-type: none"> 中嶋茜さんを講師に「福祉という言葉が不要ない社会へ」という演題で講話をしていただく。
<p>6 主な成果</p>	<p><人権（人道）学習について></p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通して取り組んできた人権（人道）に関わる学習の出口の一つとなる講演会を行うことができた。また、講演会の講師である中嶋茜さんの体験や話の内容が、本校の人権教育と深く関わっていたため、「思いやり」という言葉で年間一本の線としてつながった。 <p><12月のひびきあい集会の各学級発表について></p> <ul style="list-style-type: none"> 学級のまとめを確認する中で「仲間がいたからこそここまで頑張れた」という気持ちや「仲間のことを考えて活動してきた」という事実を確認し合い、「自分一人だけでなく、仲間がいたから成長できた」「仲間とともに高まってきた」という実感を味わうことができる集会となった。 各学級の「安心安全宣言」の振り返りから、今後の学級のやり切り活動へとつなげることができた。また、生徒会の取組から価値のあることに取り組む仲間の姿を広げようとするなど、人権週間にふさわしい活動となった。 <p><12月のひびきあい集会 ゴールボール体験・講話について></p> <ul style="list-style-type: none"> 全校が実際にゴールボールを体験してから、中嶋茜さんの話を聞いたので、視覚に障がいのある中でスポーツをすることの難しさや、障がいのある方との関わり方について考える機会となった。 中嶋茜さんの講話の中で「困っている人のために〇〇をしよう。」ではなく、「困っている人が何に困っているのか、まず聞く、知る。」ことが大切であることを全校で学ぶことができた。 講師の中嶋茜さんが、生徒に質問をさせながら講話を行っていただけたので、ただ話を聞くという会ではなく、みんなで考える会になった。 
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人権（人道）に関わる本校の年間の取組を一つの線としてつなげるために、講師の中嶋茜さんに「福祉という言葉が不要ない社会へ」という演題で講話をしていただいた。 保健体育の授業で、ゴールボールを全生徒が体験した上で、中嶋茜さんの講話を聞いた。 ゴールボールを体験するにあたって、実際のゴール、ボール、コートを準備した。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本校の人権に関わる取組に沿った講話をしていただくことができる講師を今後も探すこと。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人権（人道）学習として、年間を通じた取組を今後も継続し、ひびきあい集会での講演会も実施する予定。